

危険な「核の傘」への依存はやめよう！

憲法9条と非核三原則にもとづく平和外交を

「NATOはいらない！核兵器撤去！」で数万人の大行動が

アメリカのオバマ大統領やイギリスの首相も核兵器廃絶を唱えるなど、「核兵器のない世界」は世界の流れになっていきます。最近、イギリスの元陸軍元帥や将軍たちが連名で、核兵器廃絶の分野で指導力を発揮するためにも、自国の「核抑止力」に核兵器を捨てるべきだと主張しました。ドイツでも元大統領、首相、外相が連名で、核兵器廃絶のためには「米国のすべての核弾頭をドイツから撤去させるべき」と訴えて注目を集めました。

こうしたなか、4月3日～5日、NATO軍事同盟（北大西洋条約機構・加盟26カ国）創立60周年にあわせて、加盟国首脳会議が開かれるドイツとフランスに世界の反核平和団体が集まり、数万人が「アフガン戦争の中止、NATOはいらない、核兵器撤去」を求める大行動をおこないます。「核兵器も『核の傘』もいらない！」は世界の人のびとの圧倒的な声です。

**北朝鮮は弾道ミサイルの発射をやめよ！
政府は憲法9条守り、外交努力に全力を**

北朝鮮が日本の領空を通過する弾道ミサイルの発射を計画していることが明らかとなりました。たとえそれが人工衛星の打ち上げであっても、周辺国の合意もなしに打ち上げることは緊張を激化させる行為であり許されません。北朝鮮はミサイル発射計画をただちに中止すべきです。

この問題での日本政府の対応も異常です。浜田防衛大臣は北朝鮮のミサイルが飛来すれば「迎撃するのは当然」と言い、迎撃ミサイルで破壊することもありうるとしています。2月の日米首脳会談で米大統領は、核抑止力を含む日本防衛への関与を表明し、麻生首相も唯々諾々と受け入れました。核攻撃を含む米政府の「先制攻撃」戦略に組み込まれた日本が、軍事的対応に出る事ほど危険な行為はありません。いまこそ憲法9条と非核三原則に基づく平和外交への転換を日本政府に求めましょう。「核兵器のない世界を」の署名にご協力ください。



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>